

入院診療計画書

腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けられる

様へ

入院説明日:

診療科: 消化器外科

病棟:

入院時の診断・病態

月日(日時)	経過(病日等)	外来	入院日(手術前日)	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目/退院日
目標		治療(検査)の目的を理解し同意している	手術前後の流れがわかる 不安を表出できる 手術に向けての準備ができる	手術に向けて準備ができ、手術に出棟できる 	血圧、脈拍、体温が安定している 呼吸状態が安定している 痛みや不快感が軽減する	血圧、脈拍、体温が安定している 呼吸状態が安定している 痛みや不快感が軽減する 看護師介助のもと歩くことができる	痛みや不快感が軽減して、歩くことができる	痛みや不快感が軽減して、歩くことができる 日常生活の注意点が理解できる 今後の治療方針の説明を受け納得できる
処置・薬		血液をサラサラにするお薬(抗凝固剤)を飲まれている方は医師にお伝え下さい 常用しているお薬があれば、入院時にご持参下さい	内服薬は持参してください 手術部位の毛ぞりとお臍そうじをします 寝る前に、眠剤と下剤を飲んでいただきます	必要な場合は朝、お薬を飲んでいただきます 朝、流腸をします 手術が11時以降の場合は手術前に点滴をします	手術中にお腹の管が入ります	ガーゼ交換をします 点滴を行います (点滴が終われば点滴の針を抜きます) 飲水開始後、必要時には内服を再開します	お腹の管を抜きます ガーゼ交換をします	ガーゼ交換をします
検査		血液検査 心電図 レントゲン 尿検査			レントゲン撮影をします	血液検査を行います 		
観察			入院時検温をします	手術前に検温をします	状態が落ち着くまで頻回に血圧を測り、お腹の観察をします	検温をして、お腹の状態を観察します	検温をして、お腹の状態を観察します	検温をして、お腹の状態を観察します
活動			病院内は自由です 外出は医師の許可が必要です	なるべく病室でお過ごしください	ベッドで病室にもどります ベッド上安静です 横を向いたり手足を動かしても構いません 足にマッサージの機械をつけます(翌朝まで)	歩けるようになります 初めは必ず看護師が付添います	病院内は自由です	
食事			食事は特に制限はありません。 制限がある場合は説明します 食事は、夕食までです 飲水は、手術時間によって異なるので説明します	朝から絶食です 飲水は( )時までです	絶食です	朝から水分がとれます 昼よりお食事が始まります(粥)	朝から普通食になります 	
清潔			毛ぞりとお臍の掃除の後、必ずシャワー浴または入浴してください。			看護師が着替えと体を拭くのを手伝います ( )時に病棟に戻ります	お腹の管が抜ければ、シャワーに入れます	抜糸後は入浴が可能です
排泄			病棟のトイレをご使用ください		手術中に尿の管が入ります	朝、尿の管を抜きます		
患者様及びご家族への説明・書類		日常生活について伺います 入院申し込み 手術必要物品 入院診療計画書 禁煙の説明をします 手術前訓練のパンフレットをお渡します。	手術物品を確認します 入院期間中に薬剤師より薬剤指導があります 主治医から手術の説明があります 麻酔科医から麻酔の説明があります 手術室の看護師が訪問します 本人確認のためのリストバンドをつけます 血栓予防のための弾性ストッキングのサイズを測り、着用方法を説明します 管理栄養士から栄養指導があります	貴重品はご家族に預かっていただいています 手術が終わるまで院内で待機していただくよう、よろしく願います 朝に弾性ストッキングを着用して下さい 	手術後は病棟に戻ります 手術直後に主治医より、手術の経過をご家族に説明します			医師の許可のもと退院日を決定します 日常生活の注意点を説明します 退院は基本的に10時です 次回受診日の説明と、退院療養計画書、診察券をお渡します  

上記の説明を受け、理解しましたので同意します。平成 年 月 日

説明医師:

Ⓜ

受持ち看護師 :  
説明看護師 :

患者または  
家族氏名 :

注1: 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。  
注2: 入院期間については現時点で予想される期間です。ご了承ください。